

江戸川大学・江戸川短期大学

学 報

目 次

関係法令等	1
学内規程	4
主要日程	5
諸 報	6
決算報告	10
職員紹介	13

関係法令等

【法律】

独立行政法人日本学生支援機構法（法律第 94 号）

平成 15 年 6 月 18 日公布、施行（一部平成 16 年 4 月 1 日から施行）

著作権法の一部を改正する法律（法律第 85 号）

平成 15 年 6 月 18 日公布、平成 16 年 1 月 1 日施行。

情報公開・個人情報保護審査会設置法（法律第 60 号）

平成 15 年 5 月 30 日公布、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の施行の日から施行。

行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（法律第 58 号）

平成 15 年 5 月 30 日公布、公布の日から起算して 2 年を超えない範囲内において政令で定める日から施行。

個人情報の保護に関する法律（法律第 57 号）

平成 15 年 5 月 30 日公布、施行（一部除く）

【省令】

私立学校教職員共済法施行規則の一部を改正する省令（文部科学省令第 32 号）

平成 15 年 5 月 1 日公布、施行。

教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令の一部を改正する省令（文部科学省令第 33 号）

平成 15 年 5 月 29 日公布、施行。
消防法施行規則の一部を改正する省令（総務省令第 90 号）
平成 15 年 6 月 13 日公布、平成 15 年 10 月 1 日施行（一部除く）

【告示】

構造改革特別区域計画を認定した件（内閣府告示第 69 ～ 128 号）

平成 15 年 5 月 29 日公布

内閣府告示第 81 号 千葉県 千葉県新産業創出特区 千葉市・柏市・松戸市・木更津市及び君津市の全域
国立大学教員等の勤務時間内研究成果活用兼事業、外国人研究者受け入れ促進事業、特定事業などに係る外国人
の入国・在留諸申請優先処理事業、国の試験研究施設の使用手続きの迅速化事業、国の試験研究施設の使用容易 化
事業、及び国有施設等の廉価使用の拡大による研究交流促進事業。

大学、短期大学、高等専門学校等の設置の際の入学定員の取扱い等に係る基準の一部を改正する件（文部科学省
告示第 116 号）

平成 15 年 6 月 19 日公布、施行。平成 15 年 4 月 1 日適用。

私立博物館における青少年に対する学習機会の充実に関する基準第二条を満たしている博物館を認める件（文部
科学省告示第 114 号）

平成 15 年 6 月 13 日公布

高等学校学習指導要領の一部を改正する告示（文部科学省告示第 76 号）

平成 15 年 4 月 30 日公布、施行

【関係法令のあらまし】

著作権法の一部を改正する法律（法律第 85 号）のあらまし

- 1 映画の著作物の著作権の保護期間の延長
映画の著作物の著作権の存続期間を公表後五〇年から公表後七〇年に延長することとした。（第 54 条関係）
- 2 教科用拡大図書作成、情報化に対応した教育の実施等に係る権利制限の拡大
 - (1) 教科用図書に掲載された著作物は、弱視の児童又は生徒の学習の用に供するため、当該教科用図書に用い
られている文字、図形等を拡大して複製することができることとした。（第 33 条の 2 関係）
 - (2) 学校その他の教育機関において授業を受ける者は、その授業の過程における使用に供することを目的と
する場合には、公表された著作物を複製することができることとした。（第 35 条第 1 項関係）
 - (3) 教育機関における授業の過程において、当該授業を直接受ける者に対して公表された著作物を提供又は提
示して利用等する場合には、当該授業が行われる場所以外の場所において当該授業を同時に受ける者に対
して当該著作物を公衆送信することができることとした。（第 35 条第 2 項関係）
 - (4) 入学試験その他の学識技能に関する試験又は検定の目的上必要と認められる限度において、当該試験又
は検定の問題として公表された著作物を公衆送信することができることとした。（第 36 条関係）
- 3 著作権等を侵害された者の救済を図るための制度の充実
 - (1) 著作権等を侵害した者が譲渡した物の数量等に基づき損害額を算定できることとした。（第 114 条第 1 項関
係）
 - (2) 被告が侵害の行為に係る物について否認するときは、自己の行為の具体的態様を明らかにしなければなら
ないこととした。（第 114 条の 2 関係）
- 4 この法律は、平成 16 年 1 月 1 日から施行することとした。

○個人情報保護に関する法律（法律第 57 号）のあらまし

1 総則

(1) 目的

この法律は、高度情報通信社会の進展に伴い個人情報の利用が著しく拡大していることにかんがみ、個人
情報の適正な取扱いに関し、基本理念及び政府による基本方針の作成その他の個人情報の保護に関する施策
の基本となる事項を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、個人情報を取り扱う事業
者の遵守すべき義務等を定めることにより、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するこ
とを目的とすることとした。（第 1 条関係）

4 個人情報取扱事業者の義務

(1) 利用目的の特定

個人情報取扱事業者は、個人情報を取り扱うに当たっては、その利用目的をできる限り特定しなければならないものとし、利用目的を変更する場合には、変更前の利用目的と相当の関連性を有すると合理的に認められる範囲を超えて行ってはならないものとする事とした。(第15条関係)

(2) 利用目的による制限

個人情報取扱事業者は、法令に基づく場合その他一定の場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、利用目的の達成に必要な範囲を越えて、個人情報を取り扱ってはならないものとする事とした。(第16条関係)

(3) 適正な取得

個人情報取扱事業者は、偽りその他不正の手段により個人情報を取得してはならないものとする事とした。(第17条関係)

(4) 取得に際しての利用目的の通知等

個人情報取扱事業者は、個人情報を取得した場合は、一定の場合を除き、速やかに、その利用目的を、本人に通知し、又は公表しなければならないものとする事とした。(第18条関係)

(5) データ内容の正確性の確保

個人情報取扱事業者は、利用目的の達成に必要な範囲内において、個人データを正確かつ最新の内容に保つよう努めなければならないものとする事とした。(第19条関係)

(6) 安全管理措置等

個人情報取扱事業者は、その取り扱う個人データの漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人データの安全管理のために必要かつ適切な処置を講じなければならないものとし、その従業者および委託先に対する必要かつ適切な監督を行わなければならないものとする事とした。(第20条～第22条関係)

(7) 第三者提供の制限

個人情報取扱事業者は、法令に基づく場合その他一定の場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならないものとする事とした。(第23条第1項関係)

個人情報取扱事業者は、本人の求めに応じて当該本人が識別される個人データの第三者への提供を停止することとしている場合であって、一定の事項について、あらかじめ、本人に通知し、又は本人が容易に知り得る状態に置いているときは、の規定にかかわらず、当該個人データを第三者に提供することができるものとする事とした。(同条第2項関係)

個人情報取扱事業者が利用目的の達成に必要な範囲内において個人データの取扱いの全部又は一部を委託する場合その他一定の場合において、当該個人データの提供を受ける者は、第三者に該当しないものとする事とした。(同条第4項関係)

(8) 保有個人データに関する事項の公表等

個人情報取扱事業者は、保有個人データに関し、当該個人情報取扱事業者の氏名又は名称、すべての保有個人データの利用目的その他の事項について、本人の知り得る状態(本人の求めに応じて遅滞なく回答する場合を含む。)に置かなければならないものとする事とした。(第24条第1項関係)

個人情報取扱事業者は、本人から、当該本人が識別される保有個人データの利用目的の通知を求められたときは、一定の場合を除き、本人に対し、遅滞なく、これを通知しなければならないものとする事とした。(同条第2項関係)

(9) 開示

個人情報取扱事業者は、本人から、当該本人が識別される保有個人データの開示を求められたときは、一定の場合を除き、本人に対し、政令で定める方法により、遅滞なく、当該保有個人データを開示しなければならないものとする事とした。(第25条第1項関係)

(10) 訂正等

個人情報取扱事業者は、本人から、当該本人が識別される保有個人データの内容が事実でないという理由によって当該保有個人データの内容の訂正等を求められた場合には、利用目的の達成に必要な範囲内において、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、当該保有個人データの内容の訂正等を行わなければならないものとする事とした。(第26条第1項関係)

学 内 規 程

江戸川大学エクステンションセンター設立準備委員会要項の制定

平成 15 年 5 月 29 日

1 設置の趣旨

江戸川大学公開講座委員会でまとめた審議経過を引き継ぎ、江戸川大学にエクステンションセンター(以下「センター」という。)を設置するため、エクステンションセンター設立準備委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会

- 一 大学 5 名(各学科 1 名以上)…学長の推薦に基づき理事長が委嘱
- 二 短大 1 名
- 三 専門 1 名

3 委員長

委員会の中から理事長が委嘱

4 会議の招集

委員会及び小委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

5 委員会の作業

- 一 センター名称並びに組織
- 二 プログラム開発

6 委員の任期

この委嘱の日から、センター開設の前日までとする。

7 関係者の委員会への参加

委員会が必要と認めるときは、学内の関係者に出席を求め、意見を聴くことができる。

8 委員会の庶務

委員会の庶務は、事務局企画課が行う。

附 則

この要項は、制定の日から施行する。

江戸川大学入試センターの運営について(学長裁定)

平成 15 年 6 月 10 日

1. 江戸川大学入試管理委員会規程第 3 条の規定にかかわらず、次の事項は

江戸川大学入試センターに置く江戸川大学入試センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)の所掌とする。

2. 運営委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- 一 入学試験の実施に関する事。
- 二 入試広報に関する事。
- 三 学生募集に関する事。
- 四 高校訪問、会場ガイダンスに関する事。
- 五 オープンキャンパス、入試相談会に関する事。
- 六 AO入試合格者決定に関する事。
- 七 一般入試等合格者(案)の作成に関する事。
- 八 その他

3. 運営委員会構成員は次のとおりとする。

- 一 センター長
- 二 各学科長
- 三 センター次長
- 四 センター専任教員
- 五 その他センター長が必要と認めた者 若干人

この学長裁定は、平成 15 年 6 月 10 日施行し、平成 15 年 4 月 1 日から適用する。

江戸川大学外国人留学生授業料等減免の取扱いについて(学長裁定)
平成15年5月21日

(趣旨)

第1条 この内規は、江戸川大学学則第41条第2項及び第3項の規定に基づき、江戸川大学(以下「本学」という。)に在学する私費外国人留学生(以下「留学生」という。)の経済的負担の軽減を図るため、授業料の一部減免(以下「授業料減免」という。)及びその他学納金の一部減免の取扱いについて定めるものとする。

(減免対象者等)

第2条 授業料減免は、次の各号のいずれにも該当しない本学に在学する留学生で、所定の期日までに減免申請書を提出した者について実施する。

- 一 出席状況等を勘案し、学業継続の意志がないと認められる者
- 二 学業成績が不振で成業の見込みがないと認められる者
- 三 経済的に恵まれていると認められる者
- 四 留年した者(病気その他やむを得ない事由により留年した者を除く。)

2 前項第4号に該当する者は、当該留年した年度の翌年度に限り授業料減免の対象としないものとする。

3 休学者の休学期間の属する年度内は減免しないものとする。

4 第1項に定める所定の期日は、別途通知する。

(減免の実施方法)

第3条 授業料減免は、毎年度後期分の授業料から別に定める免除額を減額して行う。

(その他学納金の免除)

第4条 減免するその他学納金は、施設設備費及び入学金とし、学則第41条に規定する金額から、別に定める金額を一律に減免するものとする。

附 則

この内規は、平成15年 5月21日から施行し、平成15年 4月 1日から適用する。

主 要 日 程

【大 学】

日 付	事 項
7月5日(土)	公開講演会 in 宇都宮
7月8日(火)	前期授業終了
7月9日(水)	補講(～12)
7月14日(月)	前期定期試験(～19)
7月16日(水)	教授会
7月21日(月)	特別講義(～26)
7月28日(月)	夏期休業開始、集中講義(～8/2)
7月30日(水)	オープンキャンパス
8月13日(水)	学校閉鎖(～16)
8月20日(水)	オープンキャンパス
8月23日(土)	成績報告書提出〆切
8月25日(月)	追試許可者発表
8月26日(火)	追試(～28)、海外研修結団式
8月30日(土)	海外研修出発(～9/1)
9月3日(水)	追試成績報告書提出〆切
9月19日(金)	海外研修帰国(～9/21)
9月24日(水)	後期授業開始、教授会

【短 大】

日 付	事 項
7月8日(火)	前期授業終了
7月9日(水)	補講(～12)
7月14日(月)	前期定期試験(～19)
7月10日(水)	教授会
7月21日(月)	集中講義(～26)
7月28日(月)	夏期休業開始
8月2日(土)	オープンキャンパス
8月8日(金)	成績報告書提出〆切
8月13日(水)	学校閉鎖(～16)
8月23日(土)	オープンキャンパス
8月25日(月)	追・再試許可者発表、履修コース変更日
8月26日(火)	追・再試(～28)
9月3日(水)	追・再試成績報告書提出〆切
9月11日(水)	教授会
9月24日(水)	後期授業開始、後期履修変更日(～30)

入試センターの発足にあたって

入試センター長 大江田 清志

この30年間におけるわが国18歳人口は、平成4年の205万人をピークに減少を続け、平成19年の130万人に向け、年々、その減少ピッチは加速するといわれています。一方、大学進学率(短大を含む)は48.6%で、男女ともに天井の水準に張り付いています。従って、入学定員割れの私立大学数は調査対象506校のうちの143校を数え(私学振興・共済事業団調査)まさに大学経営は冬の時代を迎えているといえます。

大学経営を企業の経営にたとえると、入試の役割は、良質な材料の調達、学務はこれを付加価値の高い製品に加工、学生課は安全で快適な生産環境の整備、就職課は良質な販売先への製品販売を担当しているといえます。これらが学生や社会のニーズを充足するように統合されなければ、その存続はあり得ないという戦略発想の経営が求められているといえます。入試はその先兵であるという使命感をもっています。

ところで、本学の平成15年度における入試実績は、入学定員465名に対する定員充足率が107.7%で、前年比微増を確保しました。これを入学志願者(758名)の増減でみると、対前年比で-13.8%(121名)の減少となり、減少化傾向に歯止めがかかっているとはいえません。したがって、平成16年度に向けた入試戦線では、志願者の減少に歯止めをかけ、これを上昇軌道に乗せることが最大の課題であると考えています。

入試を取り巻く環境は、受験生の東京圏への流出に加え、流通経済大学の松戸キャンパス開設などがあり、依然として楽観できない状況にあると認識されますが、全学的な連携・支援をいただき、各種の会場ガイダンスやイベント活動、学生や教職員による高校訪問ならびに各種メディア広告などによるシナジーを追求し、みなさまのご期待にそえるよう努力いたす所存です。



諸 報

平成14年度私立大学等経常費補助金(私立大学教育研究高度化推進特別補助)について

下記2件に交付されました。

- ・クライアント-カウンセラー間の非言語的コミュニケーションに関する研究 柴田良一教授
- ・総合学習におけるロールプレイング型体験学習教材の開発と人材育成に関する教育研究 朝倉暁生助教授

平成15年度科学研究費補助金の交付決定について
基盤研究(C)(2)では、下記2件に交付されました。

- ・馬籠・藤村記念館に見る個人文学館の在り方と藤村文芸の風土的考察に関わる研究(平成14~15年度の継続研究) 新井正彦助教授
- ・膜の世界における局在化に関する研究(平成14~16年度の継続研究) 小田一郎助教授

若手研究(B)では、下記1件に交付されました。

- ・日本企業における研究開発のグローバル化 安田英土助教授

平成14年度私立大学等経常補助金の交付結果について

江戸川大学 148,346千円

(内特別補助 46,607千円)

対前年比 14,682千円増加

江戸川短期大学 51,390千円

(内特別補助 10,300千円)

対前年比 1,224千円減少

Microsoft 製品のアップグレードについて

本年度より Microsoft School Agreement 契約を結びました。これにより、学校が保有管理する端末の Windows や Office が自由にアップグレードできるようになりました。例えば、現在お使いの WindowsMe が Windows2000 や WindowsXP に、Office97 や Office2000 が OfficeXP に、など新しいソフトに入れ替えることができます。

また、VAIO や FMV などメーカー製のコンピュータの多くは、Office の中でも Word と Excel しかインストールされていません。これらのコンピュータに PowerPoint (プレゼンテーション) や Access (データベース) を追加することもできます。

ご希望の方は、LAN 基幹センターまで、お気軽にお問い合わせください。

なお、マシンのスペックその他でアップグレード出来ない場合もあります。まずはご相談ください。

春の公開講座について

5月から開講した公開講座に、大学が2講座73名、短大が4講座72名、計145名の申し込みがありました。そのうち3講座は、全4回のうち3回以上出席した受講生が8割以上と、概ね好評のうちに終了しました。

大学開放講座広報づくり教室の開催について

大学マスコミュニケーション学科と流山市公民館の共催にて、流山市民対象の「大学開放講座広報づくり教室」が、5月10、17、24、31日、6月7日(土)の全5回行われました。内容は、市川昌教授、大谷達之教授、朝倉暁生助教授による講義と、久保梯二郎教授、LAN基幹センター谷川正継・伊藤あゆみによる広報誌制作の実習です。受講者は35名で、PTA便り・自治会広報、サークルやボランティアの会報など、様々な目的を持って参加されていました。コンピュータの操作に慣れない方もいらっしゃいましたが、Microsoft Wordを使ってオリジナルの広報誌を作成しました。

夏休み期間中の学校閉鎖について

8月13日(水)～16日(土)は、学校閉鎖となります。学内に入れませんので、ご注意ください。

なお、事務局は、上記以外の期間は通常通り業務を行います。

夏休み期間中の図書館開館時間について

月～金 9時～17時

土曜日 9時～14時

夏休み期間中の校内工事のお知らせ

7月下旬～9月下旬の間に、本部管理棟外壁補修工事、短大棟エレベータ設置工事、無線LAN敷設工事を行います。

停電のお知らせ

保安規定に基づく電気工作物の定期点検を9月7日(日)に行います。当日は停電により、学内LAN・郵便局ATMをはじめ、照明、空調、その他一切の電気関連機器が使用できません。

この為、事前にパソコン等の電源を切るなど、充分注意をお願いいたします。

快挙！産経新聞社に内定！

産経新聞社に内定した、マスコミ4年生の小河雅路君に話を聞きました。

小河君は、小学生の頃から新聞が好きで、読み続けてきたことが就職活動の上で役に立ったと言います。高校生のときに、どうせ働くなら面白いところで、マスコミ業界に憧れ、社会学部を選んだのは自然な成り行きだったようです。

産経新聞社での職種は、販売店のスーパーバイザーで、新聞社と販売店の橋渡しといったところ。「読者に一番近い新聞社員」としての活躍が期待されます。

将来の目標は、業界で一目置かれるような人間になりたいということ。常にポジティブな思考で、細かいことにとらわれず、進んでいこうとする彼は、自然体で、爽やかな学生さんでした。



就職体験シンポジウム

一息コラム

7月2日のガイダンスでは、前出の小河君に続けと就職体験シンポジウムが開催されました。

参加した学生に、小河君達の話からどんなことを感じたのか、まとめてもらいました。

就職体験シンポジウムに参加して

今回、建材、銀行、マスコミ、人材派遣関連、旅行の各業界に内定した4年生の就職活動体験談を聞くことができた。激戦の中で内定を手にしただけあって、堂々と質問に答えていたのが印象深かった。

内定の決め手として挙げられたのは、インターシップでの体験談や強い意志を持つこと、事前の情報収集などだった。とにかく面接では自分を最大限にアピールする必要がある。大勢の応募者と差をつけるためには、ただやってきた事だけを話すのでは駄目なのだ。このことは、業界研究にも言える。就職活動の一步として登録する「リクルートナビ」だけに頼りがちであるが、その会社が行う説明会に行ってみるこ

現場で働く人々に直接話を聞くことが良い情報源である。他にも先生に伺うなど、自分の足で見て、聞くことが重要であるようだ。

多くの企業を見てきた4年生が口をそろえて言っていたことは、「早くから自己分析をすること、情報を集めておくのが大事」ということだ。就職難といわれる今、早めに対策をとることが絶対必要であることは間違いない。また、同じ業種でも会社によってカラーが違うので、ある程度は我慢してその会社に合わせることも必要だということも言っていた。ホームページや会社案内だけでは内部が見えてこないからだ。

「自分がやりたい事と自分ができる事」をよく考えつつ、私達も充分な対策を立て、就職課の利用をしつつ就職活動ができるきっかけになればと思う。

(マス・コミュニケーション学科
3年生 松本 郁恵)

平成15年度 学内共同研究費採択研究一覧

本研究によって得られた成果については、学内紀要、学会・学会誌への発表等印刷物として必ず発表すること。
また、研究終了後は、翌年4月末日までに学長あて研究成果報告書（概要）を提出してください。

江戸川大学

研究者名 ○ 代表者 ※ 学外者	研究題目	計画年数	申請額 (千円)	配分額 (千円)	備考
○柴田良一 上瀬由美子 松田英子	クライアント－カウンセラー間の非言語 コミュニケーションに関する研究	単年度	684	684	
○市村佑一 堀江固功 佐々木正寛 浦 達也 朝倉暁生	映像教材の調査収集及び効果的作成手法 の開発（授業用）	単年度	740	740	
○市川 昌 秋葉和子 長谷川公一 大谷達之 井上雅子 朝倉暁生	Web利用による異文化学習に関する基礎 研究	単年度	750	750	
○新井正彦 郡司俊雄	ラグビーにみるニュージーランドのス ポーツ文化に関わる研究	単年度	571	571	
○恵小百合 米村恵子 詹 萍	環境関連情報の収集と整備に関する基礎 的研究（Ⅱ）	単年度	1,000	1,000	
○伊藤 勝 土器屋由紀子 森島 清	行政環境情報とこれを補完する簡易環境 調査とその有効利用	単年度	900	900	
○親泊素子 黒崎輝人 金田正明	企業による環境活動に関する研究	単年度	800	800	
○小田一郎 帆足興次 安田英土	電子商取引とITベンチャー企業	単年度	800	800	
○宇野正人 大内田鶴子	東京における同業者集団の研究	3年度	920	920	1年次
○茅野廣行 小林 至	スポーツビジネスの調査研究	単年度	820	820	
計	10 件		7,985	7,985	

情報環境研究所

研究者名 ○ 代表者 ※ 学外者	研究題目	計画年数	申請額 (千円)	配分額 (千円)	備考
○向仲 顕 高田正之 石田義明	インターネット利用技術の研究	単年度	1,000	1,000	
計	1 件		1,000	1,000	

語学教育研究所

研究者名 ○ 代表者 ※ 学外者	研究題目	計画年数	申請額 (千円)	配分額 (千円)	備 考
○斎藤喜久志 松村豊子 城一道子	基礎英語教育教材の研究開発と学習到達度の調査およびCALLシステム活用の英語教育研究と自学自習の環境整備についての研究	単年度	582	582	
○堀江固功 長谷川公一 秋葉和子 加藤忠明 石田義明 原田昌明 その他	1 能力別語学教育のカリキュラム・教授法開発 2 語学教育研究所設立に関する諸事業の可能性の予備調査研究 3 韓国英語教育の実態調査・英語習得比較研究	3年度	1,500	1,500	2年次
○秋葉和子 井上雅子	マルチメディアを使用した言語文化教育の基礎研究	単年度	600	600	
○原田昌明 近藤益世 海老澤邦江 R.Baer T.Kelly 木内英太	英語教育のシステム化と評価法の研究	3年度	1,140	1,140	2年次
計	4 件		3,822	3,822	

江戸川短期大学

研究者名 ○ 代表者 ※ 学外者	研究題目	計画年数	申請額 (千円)	配分額 (千円)	備 考
○下平武治 佐藤 毅	日本文学史跡のデータベース化 —日本文学史跡の踏査研究を行い、資料のデータベース化を図る—	単年度	1,489	1,489	
○中塚みゆき ※野田 満	空間認知の発達に関する研究 —空間の乗法操作の記号化と心的回転からみた地図形成過程—	単年度	500	500	
計	2 件		1,989	1,989	

人 事 異 動

理事長発令

発令年月日	異動内容	氏名	現職等	前職
15. 1. 1	採用	藤倉 知康	法人本部総務部	日本ガス(株)
15. 5. 1	採用	袴田 渉	入試センター事務部	ヤマヨ測定機(株)

平成14年度決算報告

去る5月27日に開催された、評議員会ならびに理事会において当学園の平成14年度決算案が承認されました。つきましてはここに「貸借対照表、消費収支決算書要約、および資金収支決算書要約」を掲示いたします。

平成14年度決算について消費収支決算書により決算概要を説明いたします。

まず、収入面では、江戸川大学、江戸川学園取手中学校の2校で学生生徒納付金が増加したものの、江戸川短期大学、江戸川女子高等学校、中学校、江戸川学園取手高等学校、江戸川大学総合福祉専門学校、の5校で学生数の減少から学生生徒納付金が減少し、当学園全体の帰属収入としては7,272百万円、対前年比60百万円の減少となりました。

一方、支出面では、人件費が退職金の増加から3,492百万円対前年比148百万円の大幅増加となり、また教育研究経費も減価償却費の増加から1,809百万円、87百万円の増加、さらに管理経費は4百万円増えて582百万円となりました。この為、消費支出合計では、対前年比246百万円増の5,912百万円を計上しました。

また、基本金組入額については、過年度の大型設備の繰り延べ支払、借入金返済が終了し、新しい大型設備も無かったことから、7校合算しても625百万円に止まり、ここ数年来最少の組入れ額となりました。この結果、当年度の消費収支差額は基本金組入れ額の減少要因が大きく影響し、735百万円の大幅収入超過となりました。

平成15年度につきましては、少子化の進行から環境面は一段と厳しくなることが予想されますが、引き続き、資金の効率的活用、経費の削減に注力し、教育研究環境の一層の整備拡充を図っていく予定です。皆様方のご理解とご協力をお願いします。

貸借対照表		(江戸川学園全体)		(平成15年3月31日)		〔単位 百万円〕	
〔資産の部〕				〔負債の部〕			
固定資産	(23,979)	固定負債	(649)				
有形固定資産	22,940	長期借入金	0				
土地	3,741	退職給与引当金	649				
建物	15,699	流動負債	(1,784)				
構築物	597	短期借入金	5				
教育研究用機器備品	1,958	未払金	116				
その他の機器備品	97	前受金	1,325				
図書	791	預り金	40				
車両	4	修学旅行費等預り金	298				
建設仮勘定	53	負債の部合計	2,433				
その他の固定資産	1,039	基本金の部					
借地権	790	第1号基本金	28,978				
電話加入権	6	第3号基本金	174				
施設利用権	5	第4号基本金	389				
差入保証金	54	基本金の部合計	29,541				
退職給付引当特定預金	10	消費収支差額の部					
第3号基本金引当資産	174	翌年度繰越消費収入超過額	2,133				
流動資産	(10,728)	消費収支差額の部合計	2,133				
現預金	10,199	負債の部・基本金の部及び					
未収入金	186	消費収支差額の部 合計	34,107				
修学旅行費等預り預金	298						
前払金	33						
前渡金	5						
仮払金	7						
資産の部 合計	34,107						

消費収支決算書要約		(江戸川学園全体)		(平成14年4月1日～平成15年3月31日)〔単位 百万円〕	
〔消費収入の部〕		比率(%)		〔消費支出の部〕	比率(%)
学生生徒等納付金	5,889	78.2		人件費	3,492 59.1
手数料	109	1.5		教育研究経費	1,809 30.6
				(内減価償却額)	(729) (12.9)
寄付金	37	0.5		管理経費	582 9.8
補助金	1,133	15.6		(内減価償却額)	(64) (1.1)
事業収入	101	1.4		その他経費	29 0.5
その他の収入	203	2.8			
帰属収入合計(A)	7,272	100.0		消費支出合計(C)	5,912 100.0
基本金組入額	△ 625			当期収支差額(B - C)	735
消費収入の部合計(B)	6,647			前年度繰越消費収入超過額	1,398
				翌年度繰越消費収入超過額	2,133

資金収支決算書要約		(江戸川学園全体)		(平成14年4月1日～平成15年3月31日)〔単位 百万円〕	
〔収入の部〕				〔支出の部〕	
学生生徒等納付金収入	5,889			人件費支出	3,553
手数料収入	109			教育研究経費支出	1,079
補助金収入	1,133			管理経費支出	516
事業収入	101			借入金等返済支出	86
前受金収入	1,325			施設関係支出	64
その他の収入	268			設備関係支出	281
資金収入調整勘定	△ 1,539			その他の支出	334
前年度繰越支払資金	8,984			資金支出調整勘定	△ 42
				次年度繰越支払資金	10,199
収入の部合計	16,070			支出の部合計	16,070

消費収支決算書要約		(江戸川大学)		(平成14年4月1日～平成15年3月31日)〔単位 百万円〕	
〔消費収入の部〕		比率(%)		〔消費支出の部〕	比率(%)
学生生徒等納付金	2,181	91.5		人件費	940 52.6
手数料	26	1.1		教育研究経費	663 37.1
				(内減価償却額)	(165) (9.2)
寄付金	4	0.2		管理経費	159 8.9
補助金	149	6.2		(内減価償却額)	(30) (1.7)
事業収入	7	0.3		その他経費	26 1.4
その他の収入	17	0.7		消費支出合計(C)	1,788 100.0
帰属収入合計(A)	2,384	100.0		当期収支差額(B - C)	381
基本金組入額	△ 215				
消費収入の部合計(B)	2,169				

資金収支決算書要約	(江戸川大学)	(平成14年4月1日～平成15年3月31日)〔単位 百万円〕
-----------	---------	--------------------------------

〔収入の部〕		〔支出の部〕	
学生生徒等納付金収入	2,181	人件費支出	925
手数料収入	26	教育研究経費支出	497
補助金収入	149	管理経費支出	129
事業収入	7	借入金等返済支出	0
前受金収入	453	施設関係支出	49
その他の収入	54	設備関係支出	196
資金収入調整勘定	△ 516	その他の支出	37
前年度繰越支払資金	2,590	資金支出調整勘定	△ 13
		次年度繰越支払資金	3,124
収入の部合計	4,944	支出の部合計	4,944

消費収支決算書要約	(江戸川短期大学)	(平成14年4月1日～平成15年3月31日)〔単位 百万円〕
-----------	-----------	--------------------------------

〔消費収入の部〕		比率(%)		〔消費支出の部〕		比率(%)	
学生生徒等納付金	495	88.1	人件費	273	51.4		
手数料	6	1.1	教育研究経費	203	38.2		
			(内減価償却額)	(61)	(11.5)		
寄付金	1	0.2					
補助金	52	9.2	管理経費	53	10.0		
			(内減価償却額)	(9)	(1.7)		
事業収入	3	0.5	その他経費	2	0.4		
その他の収入	5	0.9	消費支出合計(C)	531	100.0		
帰属収入合計(A)	562	100.0					
基本金組入額	△ 58						
消費収入の部合計(B)	504		当期収支差額(B - C)	△ 27			

資金収支決算書要約	(江戸川短期大学)	(平成14年4月1日～平成15年3月31日)〔単位 百万円〕
-----------	-----------	--------------------------------

〔収入の部〕		〔支出の部〕	
学生生徒等納付金収入	495	人件費支出	262
手数料収入	6	教育研究経費支出	142
補助金収入	52	管理経費支出	45
事業収入	3	借入金等返済支出	40
前受金収入	152	施設関係支出	4
その他の収入	17	設備関係支出	41
資金収入調整勘定	△ 183	その他の支出	17
前年度繰越支払資金	1,558	資金支出調整勘定	△ 5
		次年度繰越支払資金	1,554
収入の部合計	2,100	支出の部合計	2,100

職員の紹介

今年新しく江戸川大学の職員になった方々を似顔絵と自己紹介文で紹介します。似顔絵は、学務課の須賀美也子さんにご協力願いました。(部署のあいうえお順)



学務課 須賀 美也子
(すが みやこ)

似顔を依頼されたときは、難しそうだと思いましたが、実際描き始めると楽しく、あっという間でした。

生まれは千葉県の市川市で、流山市に移り住んで二十五年になりました。現在は、東初石に、父・母・犬(メグ)・猫(ミー)・金魚(五匹)と住んでいます。

趣味は、油絵・海外旅行・読書・映画鑑賞・ウィンドショッピング・温泉。スポーツでは、水泳が好きです。



学務課 田口 亮
(たぐち りょう)

皆様、初めまして。7年もの間大学の世話になり、アルバイトにばかり精を出すくうたら学生はこの春ようやく社会人になることができました。学生時代、私自身授業の単位、就職のことなど大学職員の方には非常にお世話になりましたし、まだ卒業したばかりなので、学生の目線にたって話をする事ができると思います。今度は私が恩返しをする番です。早く仕事を覚え、江戸大の学生達から慕われる職員になりたいと思っています。

大阪府出身。4人家族の長男。床だけでなく、天井の雑巾かけもやらないと気がすまないほどの神経質。趣味：ゴルフ、カラオケ。好きなタイプの女性：鈴木京香。



学務課 宮崎 顕嗣
(みやざき けんじ)

1978年、富山県生。

幼少より放送業界、特にアナウンス職に憧れの念を抱く。その関係から96年に上京し、本学マスコミ学科に入学するも、努力足りず夢破れる。他に夢な

どなく困却するが、そこを渡辺紘一課長に助けられ、さらに自身もまた、後進の礎とならんと誓い、現職に至る。

座右の銘は「朝に道を聞かば夕べに死すとも可也」。行動パターンは猪突猛進型で、さして後先考えず行動することが多く、失敗することしきり。だが、その点について後々までクヨクヨしないポジティブ思考型でもあり、悩み事はさほどない。

唯一の悩みは実年齢より老けて見られることだが、これについては既に諦め、開き直っているくらいがある。



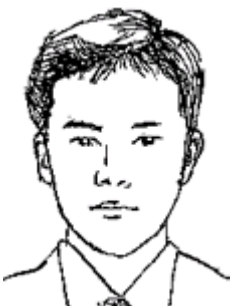
就職課長 藤田 昌久
(ふじた あきひさ)

生まれは疎開先の彦根、本籍は神戸です。

彦根城をわが庭の如く飛び回り、5年時に父の転勤で転校、以後中学3校、高校は唯一校、大学2校と転校族。

卒業後は、法律の道を志すも、志半ばで東京国際大学へ就職。無事30年、庶務課を筆頭に就職部20余年、入試広報部、学生部、図書部を経て今年3月定年退職。

妻は1人、子供は3人、孫1人。やって来たスポーツは野球、陸上、空手、現在何故か心得のない地元剣友会の会長16年目。体重は重からず軽からず78キロ、身長も高からず低からず171cm、容姿は黒いです。毎週、地元ソフトチームに借り出されており(妻曰く前後の見境無し)酒は仕事仲間良く付き合い合っています。



就職課 柿本 昌司
(かきもと まさし)

普段は家に帰って愛犬モモ(ヨークシャーテリア)と遊ぶ事が最近の楽しみです。

子供の頃は親の仕事で転勤が多く東京、熊本、長崎と各地を渡り歩きました。その影響なのか結構「おしゃべり」な性格だと自覚しております。趣味はクルマのメンテナンスとドライブ、水泳です。特にクルマに関しては少々マニアかもしれません。

そんな私ですが一人一人の希望を大切に日々学生と共に成長していきたいと思っています。



総務部 藤倉 知康
 (ふじくら ともやす)
 昭和45年8月24日生まれ
 O型 乙女座
 4人家族 (妻) 裕子
 (子) 啓伍、光佑
 趣味: 野球、ゴルフ
 [抱負] 私学情勢の厳しい環境

のなか、江戸川学園が今後どの様に、展開して行くのかとても楽しみです。また、その一部の歯車として、役に立てるよう努力して参ります。

また、仕事を通して皆様と出会えたことを大切にしていきたいと思っておりますので、何かありましたら気軽に声をかけてください。



図書館課長 藤吉 法子
 (ふじよし のりこ)
 さる老舗の国立大学図書館から、総合情報図書館にまいりました。
 いきなり、学生の読書離れ対策に頭を悩ませていますが、図書館の仕事そのものは、基本的にそれほど変わりありませんの

で、違和感もなく業務についております。

多様化した若者達の知的好奇心に応え得る、多様な蔵書構成の構築と、それなりの情報リテラシー技術習得を急がねばならないと、肝に銘じたところです。



入試センター事務局 袴田 渉
 (はかまだ わたる)
 立教大学経済学部経済学科卒業。
 卒業論文は日本人の思想をテーマに書く。巻尺等長さ計製造販売のメーカーに就職し、7年間営業を担当。縁あって本年2月より江戸川大学。

趣味は釣り・バレーボール・スポーツ観戦・読書・将棋など。広く浅くといったところではあるが、どれをとってもヘボという点では一本筋が通っている。現在30歳。

幸運にもたいへんにやりがいのある仕事をいただきましたので、何とか組織に貢献し、社会にも貢献して行きたいと思っております。



江戸川大学・江戸川短期大学学報 Vol.2 No.4 (通巻10号)
 平成15年7月1日発行

編集 江戸川大学・江戸川短期大学事務局企画課
 発行 〒270-0198 千葉県流山市駒木474
 TEL04-7152-0661